

伊深まちづくり協議会だより



今号の内容	
・協議会の動き	1
・各活動グループの動き	2
・地域提案事項「大平山の山名表示」	2
・地域のトピックス	3
・活き活き伊深人（村井昭二さん）	4

ホームページアドレス: <http://ibukamachi.com>

(左: 満開のツブラジイ 上本郷で)

■ 協議会の動き

新会長に篠田洋さんを選出するなど新体制で25年度活動がスタート

2月～3月の定例会では「逸外老師揮毫の書修復事業」、「遊休農地活用策」、「コミュニティ施設課題」、また「正眼短大との交流活動」などについて継続的に協議しました。

また、4月の定例会では、H24年度の事業報告・決算報告、H25年度の役員体制、規約の改正などを承認し、新たに選出した篠田会長のもと、新体制でH25年度の活動をスタートしました。

今後一年間ご協力をよろしくお願いいたします。

■ H24年度の主な事業報告（総括）

- 制度面での改編を行ったほか、特に広報体制の強化に取り組みました。
- 個別テーマについて広く住民の参加を求める「まちづくり研修会」を開始しました。
- 正眼短大との交流に向けた協議を開始しました。

■ H24年度決算報告

- 収入： 前期繰越金 166、市助成金 100、参加費 22、販売代金 89 計 378 千円
- 支出： 共通経費 71、個別活動費 180 計 252 千円、差引 126 千円を次年度へ繰り越しとしました。

■ 規約改正について

- 監査委員の選任方法：「自治会長経験者の中から選任」を「委員の互選」に改定。
 - 役職の任期：「翌年度最初の定例会の終了時までの1年」に改定。
 - 地域提案事項：『地域提案事項』に関する規定を新設。
- 以上、改定、新設することとしました。

■ 平成25年度委員名簿（網掛けは新委員）

役職	氏名	所属 (G:活動グループ代表)
会長	篠田 洋	H22 自治会長会長
副会長	小林 喜典	H23 自治会長会長
副会長	福田 美津枝	生涯学習委員、親子文庫代表、標柱G・絵葉書G
会計	遠山 尚	社協伊深支部長
広報委員	渡辺 葉子	選任
監査委員	小林 宮夫	H25 自治会長会長
同	渡辺 久司	H25 自治会長会副会長
委員	大矢 末男	H24 自治会長会副会長
同	堀田 基城	伊深体育振興会長
同	河村 義信	交通安全伊深分会長
同	渡辺 祐二	消防第6分団長
同	久保田 博	伊深小学校PTA副会長
同	大矢 修	伊深保育園保護者会長
同	小林 均	民生児童委員
同	福田 範和	農業委員
同	森 善一	可茂森林組合理事
同	大矢 邦子	伊深あじさい会
同	井上 美恵子	れんげ会代表
同	佐野 綾目	学校田支援G
同	大矢 伸司	里山G・保育園畑支援G

以上20名

事務局	加納 茂樹	伊深連絡所長
-----	-------	--------

※主任児童委員は欠員

平成25年度の委員の顔ぶれ（定例会当日5名欠席）



■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。
(代表者の敬称略)

平成 24 年度の主な活動報告について

野菜づくり体験グループ 代表：森 善一

H22 年度以降 5 回開催し、都市部住民との交流などの成果がありました。地区内住民の参加が減ってきた状況などから、H24 年度限りとする事になりました。

子どもの居場所づくりグループ 代表：佐野 綾目

毎週火曜日に実施し、そのなかで野菜づくり、ひな祭りなど季節に合った行事を行いました。応援していただける方を引き続き募集します。

伊深の里の標柱づくりグループ 代表：福田美津枝

設置場所の選定や材の下塗りまで行いましたが、後半の作業を次年度へ持越しとしました。

里山活動グループ 代表：大矢 伸司

今年度は具体的な活動が行えませんでした。

伊深小 学校田支援グループ 代表：佐野 綾目

伊深小 5 年生の校外授業として、田植え、稲刈り、餅つきの体験活動を支援しました。

その他

- 「伊深の四季」絵葉書づくりで、第 2 刷分の残部がまだあるので PR していくことにしました。
- 伊深保育園の畑体験の場として、「いちご」「じゃがいも」づくりを応援しました。

地域提案事項 1 「伊深最高峰の『大平山』を公式地図（国土地理院 25 千分の 1）に登載することを求める件」について

3 月 19 日に上記の提案があり、定例会において、広く住民の皆様の意見を求めることになりました。この件について関連意見を有する方は、以下の方法で当協議会までお寄せください。（意見募集期間 H25.5.31 まで）

案件 伊深最高峰の「大平山」を公式地図（国土地理院 25 千分の 1）に登載することを求める件

背景

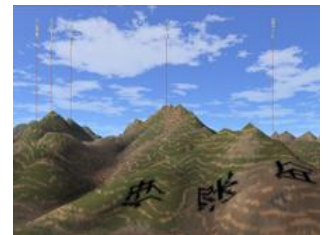
・大平山の標高は約 380m あり、周辺の高木山（山之上、344m）、山之上富士（〃、357m）、梨割山（富加町、278m）などよりも高いばかりでなく、伊深の中心部に位置する山、伊深最高地点として地域住民に永く親しまれてきています。

・しかし、市・観光協会が発行する「ガイドマップ」にはこの大平山および周辺エリアが全くの白地として表示されており、「伊深の中心部は見るべきものは何もないところ」との印象を与えかねません。

・これは国の公式地図に大平山の山名が登載されていないことに起因するものと思われ、所管官庁の国土地理院へ照会したところ、「2 万 5 千分 1 地形図に表示する山の名称は、主要かつ著名な山で、当該自治体からの申請に基づき表示します。」との回答がありました。

提案内容

・このため、大平山の山名を公式地図に登載してもらうよう、地域の意見を集約し、市を通じて関係機関に働きかけていくことを提案します。



1 関連意見の提出方法

(1) 文書による場合 協議会事務局（伊深連絡所）まで持参・郵送・FAX で

(2) 協議会 HP からの投稿による場合 サイトのフォームから
返信の用のため、①地区、②氏名、③意見、④理由（(2) の場合 メールアドレスも）を明記のうえ、ご提出ください。参考情報があれば併せてお寄せください。

2 同提出資格

原則として伊深地域在住者に限りませんが、非在住者からのご意見も参考意見として賜ります。

3 同取り扱い

提出者の氏名は返信の用のためだけに使用し、提案内容の検討にあたっては内容のみ公表します。

3月に、「創造の森 林内整備」と「牛牧の桜並木せん定」が行われました

3月10日から24日にわたって「創造の森復活プロジェクト」と銘打った森林整備活動が行われ、ねこぎぎ橋上流の林内が散策できるように整備されたほか、牛牧の桜並木にはびこっていた“天狗巣”の除去などのせん定作業が行われました。

>活動は地元の任意団体「里山ネット 森林ゆうじん」を中心に、有志の方が参加して行われました。



伊深小学校の卒業式、入学式が行われました



<3月25日の卒業式。男子だけの6人が力強く巣立っていきました。

>4月8日の入学式。5名の新生が入園しました。



伊深保育園の卒園式、入園式が行われました



<3月27日の卒園式。4名の園児が笑顔で卒園しました。

>4月5日の入園式。4名が入園しました。



4.16 伊深親子文庫でひな祭り会が行われました

4月16日(火)、ひと月遅れのひな祭り会が伊深親子文庫で行われ、小学校、保育園からおおぜいの子どもたちが訪れました。

子どもたちは、地域から集められた「土びな」などのおひなさまを見学したほか、春の歌をみんなで歌ったり、富加の「コールとみか」の皆さんによるペープサート～「えげん坊」の人形芝居～を楽しんだあと、「丸い小豆のおにぎり」のおみやげを受け取っていました。



「ギャラリーいぶか」が交流センター1階ロビーにオープン、伊深の文化財を順次展示中!!

2月1日から、伊深連絡所・交流センターの玄関ロビーに「ギャラリーいぶか」がオープンし、地区住民の皆さんの手による写真、絵画、手芸品といった文化作品や貴重な貯蔵品のほか、伊深小児童の作品などが順次展示されています。

5月20日(月)までは、「伊深の円空さん」、「空に泳ぐやこいのぼり」の2つのテーマで展示が行われています。お近くにおいで



の節はお気軽にお立ち寄りください。

伊深保育園の畑でいちごやじゃが芋づくりの体験を応援しています。

当協議会で保育園うらの休耕田をお借りし、伊深保育園児の畑づくり体験を応援する活動をすすめています。

昨年12月からこれまでに、いちご苗植え付け（12月）、じゃがいも植え付け（3月）を行い、5月にはいちごの初収穫を楽しみました。今後も、来年の節分で使う大豆などの植え付けを計画しています。



■ 生き活き 伊深人

地域内で生き活きと活躍されている伊深人を紹介します

第1回

村井 昭二さん

下本郷/昭和2年
生まれ/86歳



Q 昭和2年のお生まれということは、戦争にも行かれたのでしょうか？
いえ。特攻隊に志願していたんですが、召集前に終戦になったため、結局はいかず、です。でもグライダーの練習はしましたね。17歳で終戦、おかげで今こうして生きているということです。

Q その後、教職に就かれたんですね。そのいきさつは？
伊深小におられたOさんが民間企業へ出られることになって欠員が生じ、どうや、と声がかかり、昭和23年からお世話になることになったんです。

Q その後、先生一筋ということですか？
ええ、定年までの37年間、中学校・小学校で過ごしました。ただ、当初代用教員でしたから、それではどうかということで、通信制の大学に通い、教員免許も正式に取ったんです。遠いところでは白川の坂ノ東、最後は太田小学校でした。

Q これまでにいろいろなボランティアに関わってこられたとお聞きしましたが？
民生委員や青少年補導委員、心配ごと相談員などのほか、下本郷のふれあいサロンも伊深で最初に取り組みましたね。

Q 今はどんな活動をされているんですか？
保育園の「ふれあい先生」、これは畑や花壇の手入れをしています。小学校では「校外講師」ということで、竹とんぼや紙芝居をやっています。あと、親子文庫の畑づくりや視聴覚の毎月の映画上映などは今でも関わっていますよ。

Q そうすると、ずっと健康でこられたわけですね。
いえ、そうでもなくて。35歳のときに肺の手術をしましたし、持病の腎臓結石では入退院を繰り返しましたからね。今では定期的に検査を受けて気をつけるようになりました。

Q 今の生活サイクルはどんな風ですか？
5時か6時に起きて、朝・昼のご飯は自分でやりますね。夕飯は息子たち家族と一緒にやけどね。夕方まで外で仕事をして、寝るのは9時ころやね。日記をつけていて、百姓仕事や天気の話はちゃんと書き留めています。家計簿もね。

Q お百姓仕事がお得意のようですが、他にお好きなことは？
絵を描くこと、ちぎり絵も。ちぎり絵の材料の和紙は五箇山和紙がいいので買いに行ったりしましたよ。紙芝居の絵もちろん自分で描きますね。



◀スケッチブック
に書き溜められた
習作の一部

※ 「伊深まちづくり協議会だより」は今号から毎奇数月発行(年6回)に変更します。

※ 「巻末雑感」は今号はお休みしました。

伊深まちづくり協議会だより 第9号

2013. 5. 1発行

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 篠田 洋

事務局 美濃加茂市伊深町 909 伊深交流センター内

電話 0574-29-1395

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで